

Ⅲ 学会の構成・運営

歴代会員数，会計，年会費

表2と図1は年次別会員数の推移，年会費，会計を示したものである。第1回は会員数は不明であるが第2，3回は300名以下の少人数であったものが逐次増加してきた。昭和40年以降は4,000人を超えたが，昭和44年以降は著しい増加はなくほぼ一定しているので5,000人前後が一定数となるかも知れない。年会費は100円より始まり5,000円に達した。会計の収支は昭和44年以降は繰越金が6～700万円と健全な財政状況である。昭和51年度は会費が昭和50年度と同じであるにもかかわらず収入が著しく増加しているのは，前年度未納者が多量に納入されたためである。会計年度も第14回以降は4月に始まり3月に終る通常会計となった。収入は会員数と年会費で異なるが，支出の主な内訳を第17回と第29回で比較した(図2)。第17回で過半数を占めるのは印刷費であった

表2 日本胸部外科学会会計

回(昭和)	会員数	年会費	総収入	総支出	会計年度
2(24)	156	100	74,290	54,100	23. 11～24. 10
3(25)	254	150	58,379	22,569	24. 10～25. 10
4(26)	1,262	300	177,046	147,031	25. 10～26. 10
5(27)	1,133	600	424,313	311,350	26. 9～27. 10
6(28)	1,304	600	571,763	260,221	27. 10～28. 10
7(29)	1,777	1,000	1,752,315	692,228	28. 10～29. 10
8(30)	2,358	1,000	3,246,100	1,461,395	29. 10～30. 10
9(31)	2,838	1,000	4,474,393	2,623,783	30. 10～31. 10
10(32)	3,226	1,000	5,353,864	3,539,633	31. 10～32. 10
11(33)	3,419	1,000	5,555,061	3,938,782	32. 10～33. 12
12(34)	3,614	1,000	6,739,141	5,318,402	34. 1～34. 12
13(35)	3,652	1,000	5,717,976	4,828,348	35. 1～35. 12
14(36)	3,807	1,200	4,861,977	4,302,661	36. 1～37. 3
15(37)	3,869	1,200	7,084,844	6,589,271	37. 4～38. 3
16(38)	3,903	1,200	5,322,603	4,623,486	38. 4～39. 3
17(39)	3,920	1,500	6,769,596	6,190,953	39. 4～40. 3
18(40)	4,053	1,500	7,393,958	6,708,984	40. 4～41. 3
19(41)	4,246	1,500	9,978,380	8,714,553	41. 4～42. 3
20(42)	4,312	1,500	11,133,394	9,469,289	42. 4～43. 3
21(43)	4,640	1,500	13,391,366	10,450,192	43. 4～44. 3
22(44)	4,728	1,500	16,906,301	10,860,589	44. 4～45. 3
23(45)	4,502	1,500	19,486,014	12,801,326	45. 4～46. 3
24(46)	4,647	2,000	20,765,616	13,472,262	46. 4～47. 3
25(47)	4,731	2,000	21,660,556	16,230,180	47. 4～48. 3
26(48)	4,808	3,000	22,449,567	18,033,650	48. 4～49. 3
27(49)	4,738	3,000	29,291,515	20,229,198	49. 4～50. 3
28(50)	4,926	5,000	34,310,740	27,450,862	50. 4～51. 3
29(51)	4,832	5,000	47,031,972	34,516,710	51. 4～52. 3
30(52)					52. 4～53. 3

第1回については記載なし

図1 年次別会員数の推移

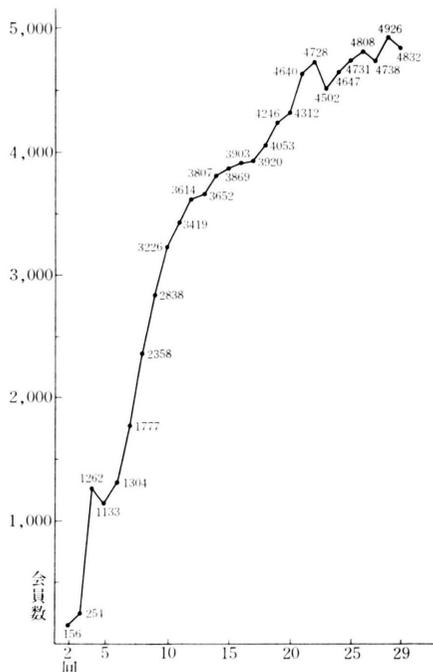
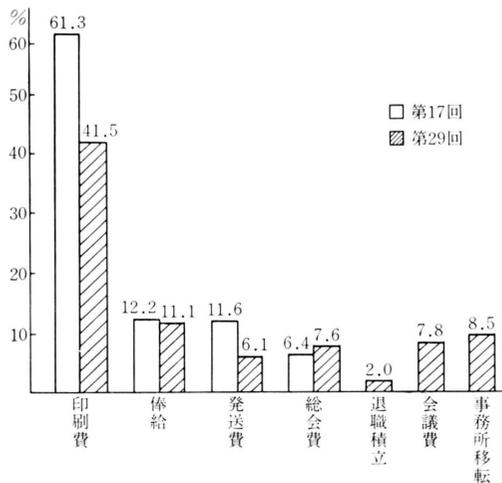


図2 第17回、第29回の支出の主な内訳



が、第29回では 41.5%に減少している。

発送費の占める比率も郵送料が高くなっているにもかかわらず第29回では低率である。

しかし第17回に比して会議費、退職積立金、事務所移転の資金というように胸部外科学会の機構も多様化してきた。

会員の地域別分布

会員の地域別分布を10年毎に分割した(図3)。昭和52年度では関東、東京地区 1,861名、近畿地区 892名、中部地区 540名、九州地区 529名、中国四国地区 511名、東北地区 369名、北海道地区 279名である。都道府県別にみると東京 1,099名、大阪 333名、兵庫 307名、福岡 227名、愛知 222名、京都 162名のように大都市に多いのは当然である。年次別増加率は図3の○の間隔のあるものほど高いことを示している。第17回の17年の歩みの地区別頻度を第30回とそれを比較すると、北海道6.18%→5.6%、東北地区 8.5%→7.4%、関東地区37.2%→37.3%、中部地区10.7%→10.8%、近畿地区17.6%→17.9%、中四国地区 8.9%→10.2%、九州10.9%→10.6%とほぼ同一の頻度を示している。

名誉会員、特別会員および役員

名誉会員の制度は昭和25年(第3回総会)時に設立された。それまでは本会に顧問をおくことができるという項目があった。第3回河合会長は次の諸先生を名誉会員に推薦された(今村荒男、大槻菊男、岡治道、熊谷岱蔵、佐藤清一郎、塩田広重、都築正男、鳥潟隆三の諸先生)以降今回まで

表3 名譽會員

故赤岩八郎	故今村荒男	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎
故佐藤岡小榊橋榊宮	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎
	故柳前田和重	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎
	故桂倉山	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎
	故赤中	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎
	忍	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故塩田廣重	故杉村七太郎	故福田誠次	故津井金吾	故篠長石	故大槻菊男	故熊谷岱藏	故坂口康藏	故佐藤清一郎

表4 特別會員

会田宗太郎君	綾部正大君	石山俊次君	内山八郎君	奥田義正君	義忠秀夫君	正君	石山俊次君	内山八郎君	奥田義正君	義忠秀夫君	正君
海老名敏明君	北本浩君	久留藤陸平君	古賀北周平君	小清水村森君	清水村森君	正君	久留藤陸平君	古賀北周平君	小清水村森君	清水村森君	正君
沢田平十郎君	笹本茂君	佐藤健男君	藤田真之助君	藤森石川君	森石川君	正君	佐藤健男君	藤田真之助君	藤森石川君	森石川君	正君
道躰祐二郎君	羽田野惟義君	林田塚陽一君	貫重孝一君	石川力君	石川力君	正君	林田塚陽一君	貫重孝一君	石川力君	石川力君	正君
前多豊吉君	牧野一朗君	八沢崎博勝君	綿田孝一君	藤田登三郎君	藤田登三郎君	正君	綿田孝一君	藤田登三郎君	藤田登三郎君	藤田登三郎君	正君
上田直紀君	片岡正統君	小野	瀬林	藤田	藤田	正君	瀬林	藤田	藤田	藤田	正君
福慶逸郎君	石田	小野	林	藤田	藤田	正君	林	藤田	藤田	藤田	正君

表5 第3回総会時の日本胸部外科学会評議員（五十音順）

会田宗太郎	青柳安誠	赤倉一郎	足立忠	天野重安	荒木武雄
石川七郎	石川善衛	今永一	岩井孝義	岩崎竜郎	岩鶴竜三
海老名敏明	内山八郎	卜部美代志	奥田義正	小沢凱夫	桂重次
加納保之	河合直次	北本浩	日下部周利	久留幸男	古賀富夫
古賀秀夫	小清水忠夫	沢崎博次	澤田平十郎	篠井金吾	塩沢正俊
鈴木千賀志	砂原茂一	武田義章	高橋喜久夫	辻村秀夫	津田誠次
堂野前維摩郷	戸田博賢	中谷隼男	長石忠三	中西正雄	中山恒明
萩原義雄	馬場治三郎	福田保	藤田真之助	藤田登	藤浪修一
藤森速水	前田和重	松島鉄四郎	三上二郎	峰勝	宮本忍
武藤完雄	安田竜夫	八塚陽一	横田浩吉	吉浦一雄	渡辺三郎
渡辺英敏	綿貫重雄				
同 幹 事					
伊藤健次郎	*卜部美代志	加納保之	篠井金吾	鈴木千賀志	高橋喜久夫
武田義章	長石忠三	三上二郎	*宮本忍	綿貫重雄	(*印常任幹事)

表6 昭和27年10月の役員

(名誉会員) 11名

赤岩八郎, 今村荒男, 大槻菊男, 岡治道, 熊谷岱藏, 坂口康藏, 佐藤清一郎,
塩田廣重, 杉村七太郎, 都築正男, 鳥潟隆三

(前会長) 5名

大槻菊男, 福田保, 青柳安誠, 河合直次, 小沢凱夫

(評議員) 84名

会田宗太郎，青柳安誠，赤倉一郎，足立忠，天野重安，荒木武雄，粟田口省吾，石川七郎，石川善衛，今永一，岩井孝義，岩崎竜郎，岩鶴竜三，井上雄，石川義信，内山八郎，卜部美代志，海老名敏明，奥田義正，小沢凱夫，岡本隆彦，桂重次，加納保之，河合直次，貝田勝美，北本浩，木本誠二，日下部周利，久留幸男，古賀秀夫，古賀富夫，小清水忠夫，沢田平十郎，沢崎博次，柳原任，笹本浩，篠井金吾，塩沢正俊，穴戸仙太郎，鈴木千賀志，砂原茂一，瀬田孝一，関口一雄，武田義章，高橋喜久夫，田辺孜，辻村秀夫，津田誠次，堂野前維摩郷，戸田博，道躰祐二郎，中谷隼男，長石忠三，中西正雄，中山恒明，萩原義雄，林周一，馬場治賢，畠山辰夫，日笠頼則，藤田真之助，藤田登，藤浪修一，藤森速水，福田保，本多憲児，前田和三郎，前多豊吉，楨哲夫，松島鉄四郎，三上二郎，峰 勝，宮本忍，武藤完雄，安田竜夫，八塚陽一，柳壯一，横田浩吉，吉浦一雄，依田亘正，渡辺英敏，渡辺三郎，綿貫重雄，脇坂順一

(幹事) 19名

青柳安誠，会田宗太郎，○卜部美代志，小沢凱夫，河合直次，桂重次，加納保之，木本誠二，篠井金吾，鈴木千賀志，関口一雄，高橋喜久夫，武田義章，戸田博，中山恒明，長石忠三，三上二郎，○宮本忍，本多憲児 (○印常任理事)

表7 理事制発足以来の役員

	○ 理事 ■ 会長 ◆ 副会長 ● 監事									
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
西村正也	■	●	●							
砂田輝武	◆	■	○	●	○	○	○			
杉江三郎	○	○	◆	■	○	○	●	●		
赤倉一郎	○	○								
榊原任	○	○	○	○	●	●				
鈴木千賀志	○	○	○	○	●	●				
宮本忍	○	○	○	○						
木本誠二	●									
長石忠三	●	●	○							
石川七郎		◆	■				○			
加納保之			●	●	○	○	●			
本多憲児				◆	■	○	○	●	●	
曲直部寿夫				○	○	◆	■	○	○	
香月秀雄				○	◆	■	○	○	●	
麻田栄一					○	○	◆	■	○	
浅野献一						○	○	○	○	
三枝正裕						○	○	○	○	
脇坂順一						○	○	○	○	
和田寿郎							○	○	○	
早田義博							○	◆	■	
香川輝正							○			
末舛恵一								○	○	
辻泰邦								○	◆	
佐藤博								○	○	
弥政洋太郎								○	○	

病理の先生が学会評議員として活躍されていた。またこれらの方々の中に木本先生、榊原先生のお名前のはっていない。先生方が評議員になられたのはそろそろ我国の心外科の発展の萌しが見え出した頃昭和27年第5回の総会時である(表6)。

しかし当時は会長をやられた河合先生が幹事になったり、幹事であった人が評議員にならなかったりして整然としていなかったようである。理事会制度がおかれたのは第21回加納会長(昭和43年)である。この時より理事会によって学会が運営されることとなった。この理事制発足以来の理事名を表7に示した。以後副会長、会長の選出は理事の中から選ばれるものが多くなり、理事選挙も重要な項目となってきたようである。会長制度、副会長制度については胸部外科学会の歴史の中でふれることにする。表8に各回別の名誉会員、特別会員、幹事(会長補佐のための教室員)評議員、理事、監事の人員を示してある。

表8 名誉会員、特別会員、評議員、理事、幹事

回	昭和	名誉会員	特別会員	幹事	評議員	理事	監事
1	23	4(顧問)					
2	24			2			
3	25	9					
4	26	10		26	63		
5	27	11		19	84		
6	28	5		7	56		
7	29	6	4	5	46		
8	30	5	5	9	63		
9	31	4		8	68		
10	32	3	7	11	70		
11	33	4	9	8	46		
12	34	5	10	6	88		
13	35	2		7	83		
14	36	6		6	90		
15	37	4		6	84		
16	38	7		6	88		
17	39	9		10	94		
18	40	5			91		
19	41	6		5	108		
20	42	6		5	147		
21	43	7		2	141	5	2
22	44	2		2			
23	45	7		2	110	5	2
24	46	9		2	115	5	2
25	47	15		3	158	7	2
26	48	15	24	3	158	7	2
27	49	17	30	4	302	6	2
28	50	4	30	4	359	8	2
29	51	19	31	4	420	8	2
30	52			4		8	2